

## ＴＰＰ交渉参加断固阻止に関する特別決議（案）

ＴＰＰ（環太平洋連携協定）は、関税撤廃の例外を認めない自由貿易協定である。交渉への参加は、わが国の農業生産に壊滅的な影響を与え、地域経済・社会を崩壊させるものであり、絶対認めることはできない。

また、ＴＰＰ交渉は、関税以外にも、金融、保険、医療など、国民生活に関わる重要な仕組みや基準を根本的に変えることにつながるものであると言われており、ＴＰＰに対する国民の不安や懸念はますます大きなものとなっている。

現在、世界的な食料危機の再来が懸念されており、世界最大の食料純輸入国であるわが国では、国民の圧倒的多数が食料安全保障の確立や食料自給率の向上を望んでいる。また、今回東北・関東地方に未曾有の被害をもたらした東日本大地震をみても必要な食料やライフラインの確保は国家的課題となっている。

このような国民の強い期待に応えていくためにも、我々は、地域農業の「担い手」として、安全・安心な食料を安定的に供給し愛媛農業の復権に全力を尽くすとともに、地域活動の担い手として地域社会に貢献する所存である。

我々は、これからも誇りをもって農業に取り組みたい。そのため、未来へ繋がる財産である地域の豊かな自然や文化、人々の暮らしを守っていくため、盟友の結集力のもと、他の組織と連携の輪を広げ、また、地域住民の理解と支持を得ながら、組合員の先頭に立ってＴＰＰ交渉参加を断固阻止する。

以上、決議する。

平成23年5月6日

ＪＡえひめ中央青壮年部 通常総会